

SDGs推進を後押し 産官学セミナー開催 古着回収で640万人分のワクチン



SDGs＝持続可能な開発目標の推進に向け、企業・団体の取り組みを後押しするセミナーが3月10日、千葉市内で開催されました。

セミナーには、県内の企業を中心に約40の団体が参加し、産官学それぞれのSDGsの取り組みが紹介されました。

木更津市に事業所を構えるリサイクル業「日本リユースシステム」は家庭で不要になった衣類を回収し海外で再販売すると開発途上国にワクチンが寄付される「古着deワクチン」を説明。

これまでに5,070万着以上の衣類などを回収し、640万人分を超えるワクチンが寄付*されたということです。

このほか、市原市によるSDGsを楽しく学ぶ学習ゲームの活用状況や県立大原高校が取り組んでいる水産養殖と水耕栽培を組み合わせた循環型生産システム「アクアポニックス」の魅力なども紹介されました。

このあと、参加者はグループワークに臨み、参加者同士の連携の可能性を模索するなどSDGsの推進に向けた議論を深めた様子でした。

※日本リユースシステム(株)補足説明

ポリオワクチン寄付数は8,329,945人分 衣類再利用数61,002,900着分(関連事業含む・2025年2月28日現在)